発行：小金井市議会
編集：広報協議会
〒184-8504
小金井市本町六丁目６番３号
TEL（042）387－9947（直通）
FAX（042）387－1225

小金井市議会
ホームページアドレス
https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikaijimukyoku/

こがねい 市議会だより

令和２年
第２回定例会
第270号
令和2年（2020年）
8月18日発行

新型コロナウイルス感染症関連予算３件を可決

新型コロナウイルス感染症対策のため、議場に入る議員を約半分に制限
左上：議長席及び市長席にビニールシートを設置

新型コロナウイルス感染症対策基金条例（議員提案）を可決

第２回定例会の概要

令和２年第２回定例会（五十嵐京子議長）は、６月１日に開会し、６月23日に閉会しました。

４回の令和２年度一般会計補正予算専決処分１件を承認、３件を可決

今定例会で提出された新型コロナウイルス感染症対策を含む一般会計補正予算（詳細は議員作成の特集記事を８面に掲載）の主な審議経過は次のとおりです。

▼第１回

６月１日の本会議において、市長から専決処分した旨の報告がなされ、６月２日の本会議で承認しました。

▼第２回

６月１日の本会議において上程し、委員会付託を省略し、６月２日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

▼第３回

６月２日の本会議において予算特別委員会（湯沢綾子委員長）に付託し、６月16日及び19日の計２回にわたり審査を行いました。

６月23日の本会議では、起立採決の結果、起立全員により、原案のとおり可決しました。

▼第４回

６月19日の本会議において予算特別委員会に付託し、同日の委員会で審査を行いました。

６月23日の本会議では、起立採決の結果、起立全員により、原案のとおり可決しました。

また、議員から、第２回及び第４回の一般会計補正予算に対する決議を提案し、いずれも原案のとおり可決しました。（詳細は４面及び８面に掲載）

なお、今定例会を通じての一般会計補正予算の合計額は、138億７千512万９千円となり、補正後の一般会計歳入歳出予算総額は、それぞれ574億212万９千円となりました。

新型コロナウイルス感染症対策基金条例を可決

本条例は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、また、同感染症によって深刻な影響を受けている市民・事業者の支援を目的に、新たな基金を設置するため、議員から提案しました。

６月23日の本会議において上程し、委員会付託を省略し、同日に、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

議会報告会を開催します

市議会では、新型コロナウイルス感染症に関する報告と、市政と議会を市民のみなさんと一緒に考える議会報告会を開催します。

日時　８月21日（金）　午後７時
場所　小金井　宮地楽器ホール　小ホール
申込み　必ず事前にお申し込みください（定員40名）
その他　手話通訳・保育あり（保育は要事前申込）
問合せ　議会事務局（042－387－9947）

各会派の平成31年度政務活動費収支報告については８面に掲載しています。

令和２年第２回 定例会日誌

１日　本会議（議案の審議）
２日　本会議（議案の審議・採決、委員会付託・採決、陳情の採決、議員提出議案の採決）
４日　本会議（一般質問）
５日　本会議（一般質問）
８日　本会議（一般質問）
９日　本会議（一般質問、議員提出議案の採決、陳情の委員会付託）
10日　議会運営委員会
11日　厚生文教委員会
12日　建設環境委員会
15日　総務企画委員会
16日　予算特別委員会
17日　庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会
18日　行財政改革推進調査特別委員会
19日　本会議（議案の審議・委員会付託、議員提出議案の撤回）
議会運営委員会
予算特別委員会
厚生文教委員会
建設環境委員会
総務企画委員会
23日　本会議（委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・委員会付託・採決、陳情の委員会付託）

全員協議会を開催しました

【５月21日】
【７月15日】
▼新型コロナウイルス感染症対策について
【６月17日】
▼新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設について

広報協議会

次の日程で開催しました。
会議の様子はYouTubeでご覧いただけます。
▼▼６月23日（火）
▼７月14日（火）

市議会の本会議・委員会等の様子をYouTubeで配信しています。
https://www.youtube.com/user/koganeishigikai

審議した主な議案

令和２年度一般会計補正予算（第３回）

予算の概要は１面に掲載しています。

賛成討論（要旨）

宮下　誠（公明党）

産前産後のヘルパー利用の拡充や、タクシー券を含む子育て応援１万円商品券を贈るなど、育児に関する様々な悩みに対応する事業が組み込まれた。また、安定した住まいの確保を図るため、支給対象が拡大された住居確保給付金事業についても、第３回と第４回の補正予算に計上され、適切に対応されている。

令和２年度一般会計補正予算（第４回）

予算の概要は１面に掲載しています。

賛成討論（要旨）

村山ひでき（みらい）

市民交流センターの定員制限に伴い利用料金を減額する損失補償金、収入減少者への住居確保給付金、障がい福祉事業所・介護事業所への運営補助、医師会の献身的な協力で設置できたＰＣＲ検査センターへの補助金、ひとり親世帯への臨時特別給付金、学生対象の自転車駐車場定期利用料補助等を評価する。

賛成討論（要旨）

水谷たかこ（こがおも）

賛成するが、次の点の改善を求める。市民交流センターに加え、集会施設も利用定員に比例した利用料とすること。障がい者福祉や介護の職員を先行するが、医療や保育等他業種の職員に対しても、感謝を伝える配慮を。学生支援策は、駐輪場利用料補助では不十分なため、他の支援策の検討等を求める。

賛成討論（要旨）

斎藤康夫（市民会議）

本議案は新型コロナ対策の予算である。全て必要な予算であるが、これだけでは不十分であり、国による財政出動が必要不可欠である。小金井市議会は国の第２次補正予算に向けて、国民を守るための「真水100兆円規模の財政出動」を求める意見書を既に可決している。以上、意見を付して賛成討論とする。

賛成討論（要旨）

片山　薫（市民カエル）

市民交流センターの定員に応じた利用料減額は必要。住居確保給付金の分かりやすい広報を。ひとり親家庭からの、行政に寄せられない声を、どう拾い適切に支援できるか、検討を深めるべき。今後は、委託事業の非正規労働者の休業補償、家賃や住宅ローンが払えない市民のセーフティネットの確保を求める。

教育用タブレット端末等の買入れについて

本件は、６月23日の本会議において上程されました。

主な内容は、指名競争入札により、教育用タブレット端末７千529台及び管理ソフトを買い入れ、市立小・中学校14校に納入するものです。

同日の本会議では、委員会付託を省略し、起立採決の結果、起立多数により、可決しました。

賛成討論（要旨）

白井　亨（こがおも）

児童・生徒一人１台のパソコン端末の整備という大きな改革である。学校が、多様な体験の場、人間関係構築の場として、一人ひとりがより良い学びとなるよう取り組んでほしい。また、教員のサポートを手厚くし、保護者への説明を分かりやすくするなど、誰もが共通認識で捉えることができるよう要望する。

◆◆◆◆◆◆◆

小金井市議会の議員定数の削減を求める請願書

賛成討論（要旨）

吹春やすたか（自民党・信頼）

市民生活はコロナ禍の影響を大きく受けている。「苦境に立つ市民」今ほど、この言葉の切実感を大きく感じる時があるだろうか。本請願書は感情的な要求ではなく具体的な定数削減による財源の活用を提案している。署名も増えていると聞く。小金井市議会は、重く受け止め、市民の声に応えるべきである。

反対討論（要旨）

岸田正義（みらい）

定数削減は否定しないが、定数の根拠を作る努力を行うべき。そのための熟慮には全面的に協力するが、改正に当たっては市民意見を聴取すると定めた議会基本条例第21条に違反し、どのような議会を目指すかの議論がない等、従来からの指摘に対し紹介議員から特段の歩み寄りや提案もない現時点では反対する。

賛成討論（要旨）

紀由紀子（公明党）

議員提出条例が10対13で否決され、請願書が提出された。厳しい財政状況やコロナ禍を考え２名削減の財源（年間約２千２百万円）は、市民生活の支えに活用とある。現定数を維持しなければ市民の負託に応えられない根拠はない。議会が自ら身を切る改革が、市民からの信頼に応えると考え、賛成討論とする。

反対討論

水上洋志（日本共産党）

定数削減は、この間の議会改革、条例提案などの審査を通じて、議会として審査を尽くしてきた。「コロナ禍」の下で、市民生活支援に議会の権能の発揮が必要である。また、新型コロナの教訓をどういかすのかなど新しい課題があり、多様な民意を反映する議会が必要であり、定数を削減すべきではない。

賛成討論（要旨）

渡辺大三（情報公開）

多摩地域の人口類似市４市を見ると、小金井市が24名で他の３市は22名である。２減は他市と同程度にするものである。市民意向調査でも「多い」と感じている市民が非常に多い。新型コロナウイルスの影響は３年から４年続くと考える。市民生活を支えるためにも、市議会としても一定の努力が求められる。

反対討論（要旨）

田頭祐子（生活者ネット）

議員定数については、第１回定例会で議員提案の条例案が否決された。議会の役割や報酬について市民と共に議論を深めてから定数についても議論すべき。困窮する多様な市民の声を反映するためには、多様な選出母体を持つ議員が必要で、新型コロナウイルス対策の財源にするためという理由は当たらない。

反対討論（要旨）

坂井えつ子（緑・つながる）

住民自治のための経費は、議会の責務として確保すべきであり、それでも更に財源が必要なら報酬を見直すべきである。議会の最高規範である議会基本条例には、「議員定数の改正は、市民意見を聴取した上で定める」とあるため、意見聴取を提案したが一致しなかった。議員は条例を遵守すべきである。

議案の審議結果

付託先略称　即：委員会付託を省略し本会議で採決
総：総務企画委員会　厚：厚生文教委員会
予：予算特別委員会

○：賛成　×：反対　△：退席　議：議長（原則、採決には加わらず）

	自					公				み				共			お		会	情	改	ネ	市	緑	付託先	議決結果
	清水がく	吹春やすたか	湯沢綾子	五十嵐京子	遠藤百合子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	村山ひでき	鈴木成夫	岸田正義	沖浦あつし	たゆ久貴	板倉真也	水上洋志	白井亨	水谷たかこ	斎藤康夫	渡辺大三	篠原ひろし	田頭祐子	片山薫	坂井えつ子		
賛否が分かれたもの																										
小金井市市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	総	原案可決
令和2年度小金井市一般会計補正予算（第2回）	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	即	原案可決
教育用タブレット端末等の買入れについて	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	即	可　決
小金井市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例（議員提案）	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	×	○	△	○	○	○	即	原案可決
↳ 小金井市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例について委員会付託を省略し即決を求める動議（議員提案）	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	即	可　決
小金井市新型コロナウイルス感染症対策基金条例（議員提案）	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	即	原案可決
全会一致となったもの																										
小金井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、小金井市学童保育所条例の一部を改正する条例																									厚	原案可決
令和2年度小金井市一般会計補正予算（第3回）、令和2年度小金井市一般会計補正予算（第4回）																									予	原案可決
令和2年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）、小金井市国民健康保険条例の一部を改正する条例、令和2年7月に小金井市長、小金井市副市長及び小金井市教育長に支給する給料の特例に関する条例																									即	原案可決
小金井市総合体育館大規模改修工事（第2期）請負契約について、パススルー冷蔵庫等の買入れについて																									即	可　決
監査委員の選任に関し同意を求めることについて、農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて（ほか13件）																									即	同　意
専決処分の報告及び承認について（令和2年度小金井市一般会計補正予算（第1回））、専決処分の報告及び承認について（小金井市市税条例等の一部を改正する条例）、専決処分の報告及び承認について（小金井市都市計画税条例の一部を改正する条例）、小金井市子どもの権利に関する条例の一部を改正する条例の撤回（議員提案）																									即	承　認
人権擁護委員候補者の推薦について																									即	異議ない旨の意見提出

【会派略称】自：自由民主党・信頼の小金井　公：小金井市議会公明党　み：みらいのこがねい　共：日本共産党小金井市議団　お：小金井をおもしろくする会　会：こがねい市民会議
情：情報公開こがねい　改：改革連合　ネ：生活者ネットワーク　市：市民といっしょにカエル会　緑：緑・つながる小金井

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

請願・陳情の審議結果

付託先略称　総：総務企画委員会　厚：厚生文教委員会　議：議会運営委員会
庁：庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

○：賛成　×：反対　△：退席　議：議長（原則、採決には加わらず）

件名	要旨	付託先	自 清水がく	自 吹春やすたか	自 湯沢綾子	自 五十嵐京子	自 遠藤百合子	公 渡辺ふき子	公 小林正樹	公 紀由紀子	公 宮下誠	み 村山ひでき	み 鈴木成夫	み 岸田正義	み 沖浦あつし	共 たゆ久貴	共 板倉真也	共 水上洋志	お 白井亨	お 水谷たかこ	会 斎藤康夫	情 渡辺大三	改 篠原ひろし	ネ 田頭祐子	市 片山薫	緑 坂井えつ子	議決結果
地域生活支援事業「移動支援事業」に関する陳情書	移動支援事業の身体障がい者への適用及び介護保険受給者の障がい福祉サービス併用可の周知徹底を求める。	厚	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
財務会計ルールの全庁的な見直しと不祥事等非違行為があった際の危機管理の在り方の改善を求める陳情書	ルール見直しと再発防止策、危機管理の在り方の改善、プロジェクトチームの設置、市民等への報告を求める。	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
「小金井市第6次男女共同参画行動計画」に、多様な性を尊重する市の姿勢と、具体的な施策を明記することを求める陳情書	「小金井市第6次男女共同参画行動計画」に多様な性を尊重する姿勢と具体的な施策を明記することを求める。	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
庁舎建物内及び敷地内の全面禁煙を求める陳情書	新庁舎及び現庁舎の建物内、敷地内を完全全面禁煙とし、職員の禁煙を求める。	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	△	○	×	×	×	×	採択
議会動画配信用カメラが現在位置に設置されていることに対しなぜそのように決定したのかの説明を議会に求める陳情書	議会動画配信用カメラをなぜ現在の位置に設置することに決めたのか、根拠もしくは合理的な説明を求める。	議	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
コロナ禍で苦境のアーティスト支援を求める陳情書	給付メニューの創設、市管轄のホール等での公演開催等、継続的なアーティスト活動への理解・支援を求める。	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
市職員のボーナス引き上げによる、2019年度及び2020年度の影響額を市民に明らかにすることを求める陳情書	昨年度及び今年度見込みの市職員のボーナス引上げに伴う影響額を明らかにすることを求める。	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
事業継続支援給付金につき他市でも例のある「飲食店等加算」「売上減少段階区分による加算」等を追加実施することを求める陳情書	飲食店等へ追加給付、事業用建物を自ら所有する事業者への給付、売上減少割合に応じた追加給付を求める。	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
国に対しＣＯＶＩＤ－19対策としての学生・高等教育機関への支援と高等教育無償化の計画を求める意見書の提出を求める陳情書	学生・高等教育への支援策の実態調査、更なる緊急支援策、導入までの計画を示す旨の意見書の提出を求める。	厚	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
新型コロナウイルス感染症の感染防止策について、国等に更なる改善を求める陳情書	特例貸付金額の引き上げ、持続化給付金の拡大、住民税等の減額免除、ＰＣＲ検査体制の支援強化等を求める。	厚	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
福祉的視点から、母子・父子自立支援員（兼婦人相談員）体制の充実と、非常勤化体制の検証を求める陳情書	相談支援体制の充実、相談者の実態調査と業務の在り方の検証、広範な知識を持つ外部専門家の検証を求める。	厚	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
市民の生活を守るための≪新たな条例≫についての陳情書	市民が安全・安心な日常生活を送るための悪質な買い占め、転売等の規制（禁止）を求める。	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
厳しいコロナ禍にさらされている市民に対し生活支援金、一人当たり2万円を配布することを求める陳情書	コロナ禍による経済活動の急激な衰退により生活が脅かされる状況であり、市民に生活支援金の配布を求める。	厚	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
ＩＣＴを有効に用いた未来型議会運営改善を目指すことを求める陳情書	議会が健全に機能するべくＩＣＴ導入可とするための規則等の改正、ＩＣＴの活用推進、環境整備を求める。	議	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
請願権条例制定を求める陳情書	政府の行政解釈に追従して、人権後進自治体との非難を受けることのないよう、請願権条例制定を求める。	議	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
小金井市議会の議員定数の削減を求める請願書	議員定数を2名削減し、削減によって生み出された財源は、市民生活を支えるために活用することを求める。	議	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	不採択
自動車等の「武蔵野ナンバー」及び「デザインナンバー」導入に向けた検討を求める陳情書	自動車等の「武蔵野ナンバー」導入及び「デザインナンバー」の導入も検討することを求める。	総	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	不採択
（仮称）スポーツ振興審議会の設置を求める陳情書	学識・実務経験者等の審議会設置か体育協会が市と合意した第三者機関のどちらが市民に必要か判断を求める。	厚	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	不採択
（公財）小金井市体育協会理事による不正受給金返還の確認を求める陳情書	体育協会の雑収入に返還金60万円を入金して決算したのか真実を明らかにする再検査の指示、審議を求める。	厚	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	不採択
部課長手当を市民や議会に知らせずに大幅に引き上げたことに抗議し、すみやかな是正を求める陳情書	管理職手当（特別調整額）の額は条例で定めること、条例化の際に是正し、額を引き下げることを求める。	総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	不採択
契約金額約130億円で購入した蛇の目跡地に全市民が活用できる施設群建設を求める陳情書	現状を温存した上で、新たに市民が活用できる設備を建設し、市庁舎本体の建設を回避することを求める。	庁	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
可燃ごみ処理で50億もの損害を市民に与えた小金井市は自ら自重し既成概念的庁舎建設を止め低額庁舎更新案の策定を求める陳情書	既成概念的ステレオタイプな庁舎建設計画を破棄し、最低限の予算で庁舎更新案を策定することを求める。	庁	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
3密不可避な集合・複合型庁舎建設案はパンデミック時代における安全軽視の愚案であるとし新庁舎計画の即時停止を求める陳情書	パンデミック前の新庁舎建設計画を即時停止し、早急に分散化市庁舎建設計画の構想を始めることを求める。	庁	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	不採択
市庁舎等建設の実施設計については１年程度凍結し新型コロナウイルス問題に対して行政と議会が全力を傾注することを求める陳情書	市庁舎建設は1年程度凍結し、新型コロナウイルスへの対応に全力を尽くすことを求める。	庁	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	不採択
請願書や陳情書の「郵送」「オンライン」提出を可能とすることを求める陳情書	請願書・陳情書の提出等について、郵送・オンラインでの提出を可能とし、対面接触防止を求める。	議	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	不採択
新型コロナウイルス禍の下、国民健康保険の負担軽減と制度の改善を求める陳情書	今年度の国保税の改定を元に戻す、増税計画を見直す、減免は収入激減の場合も対象にすることを求める。	厚	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	△	○	×	○	○	○	不採択

【会派略称】自：自由民主党・信頼の小金井　公：小金井市議会公明党　み：みらいのこがねい　共：日本共産党小金井市議団　お：小金井をおもしろくする会　会：こがねい市民会議
情：情報公開こがねい　改：改革連合　ネ：生活者ネットワーク　市：市民といっしょにカエル会　緑：緑・つながる小金井

国に対しＣＯＶＩＤ－19対策としての学生・高等教育機関への支援と高等教育無償化の計画を求める意見書の提出を求める陳情書

賛成討論（要旨）

たゆ久貴（日本共産党）

学生が求めているのは一律の学費半額であり、国の支援策では不十分である。憲法のとおり高等教育は無償であるべきである。学生自身が陳情を提出したことで、市議会でも議論になり、大きな意義を持つものであった。日本共産党は全ての学生の学費を半額にし、段階的に無償にすることを求めている。

新型コロナウイルス禍の下、国民健康保険の負担軽減と制度の改善を求める陳情書

賛成討論（要旨）

板倉真也（日本共産党）

新型コロナウイルスの影響で会社の経営が厳しくなり、職を失い、国民健康保険に加入する事態となる可能性が、誰にでも否定できない状況となっている。本陳情は、自営業者や失業者、非正規雇用者が多くを占める国民健康保険税の負担軽減を求めるとともに、制度の改善を求めるものであるため、賛成する。

新型コロナウイルス感染症の感染防止策について、国等に更なる改善を求める陳情書

反対討論（要旨）

渡辺ふき子（公明党）

公明党は、国・東京都・市が連携して緊急要望を重ね、中小企業等を守る対策や、医療機器等の生産支援、ＰＣＲ検査の拡充等、命を守る政策を提案し、推進してきた。国の第２次補正予算においても、交付金の増額等で財源も確保している。よって、国・東京都に抜本的改善を求める本陳情に反対する。

第５次基本構想・前期基本計画の内容について、新型コロナウイルスの社会的影響を踏まえることを求める決議

反対討論（要旨）

小林正樹（公明党）

基本的に、主旨については賛同する。しかし、市の考え方を示さず進めていることは遺憾であり、スケジュールの延伸は市長自身の責任で決断すべきである。決議文で言及されている「予定したスケジュールに縛られることなく策定することを求める」という部分については賛同しかねるため、反対する。

新型コロナウイルス感染症を踏まえ、新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設に関して、慎重な検討を求める決議

反対討論（要旨）

沖浦あつし（みらい）

現在、市役所第二庁舎は、毎日約60万円の賃借料が発生している。四半世紀以上にわたるこの賃借状態の早期解消が市民に望まれている。事務的作業である実施設計段階において立ち止まることは、新庁舎はおろか（仮称）新福祉会館の早期竣工の可能性をも議会が自ら諦めたと判断されるため、反対する。

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿（校正中）を公開しています。
http://www.city.koganei.tokyo.dbsr.jp/

意見書・決議の審議結果

※　可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

○：賛成　×：反対　△：退席　議：議長（原則、採決には加わらず）

件　名	要　旨（提案議員が作成）	自 清水がく	自 吹春やすたか	自 湯沢綾子	自 五十嵐京子	自 遠藤百合子	公 渡辺ふき子	公 小林正樹	公 紀由紀子	公 宮下誠	み 村山ひでき	み 鈴木成夫	み 岸田正義	み 沖浦あつし	共 たゆ久貴	共 板倉真也	共 水上洋志	お 白井亨	お 水谷たかこ	会 斎藤康夫	情 渡辺大三	改 篠原ひろし	ネ 田頭祐子	市 片山薫	緑 坂井えつ子	議決結果
議案第28号令和2年度小金井市一般会計補正予算（第２回）に対する決議	本来、市長は、本年度の早い段階で市民や事業者支援の予算を編成すべきであった。事業者の困窮状況を踏まえ、飲食店や売上減少の大きい事業者（自己所有物件での事業者含む）への追加支援策に着手することを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
法秩序を無視した政権運営に抗議し、検事長の定年延長に関する閣議決定の撤回を求める意見書	法秩序無視の政権運営に抗議し、黒川前東京高等検察庁検事長の訓告処分に関する経過と責任を国民に明らかにし、検察幹部の勤務延長を政府の一存で可能にする特例の撤回と検事長の定年延長の閣議決定撤回を求める。	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	原案可決
国民を守るための「真水100兆円規模の財政出動」を求める意見書	①粗利補償「持続化給付金」50兆円、②中小企業に資本注入10兆円、③医療・介護への支援5兆円、④地方公共団体への交付金5兆円、⑤特別定額給付金26兆円、⑥就労支援、⑦消費税率0%、これらの財政出動を求める。	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
新型コロナウイルス等の感染症対策として、地方選挙の期日延期を可能とする法整備を求める意見書	新型コロナウイルスの感染が拡大しやすい時期に行われる地方選挙は、延伸することができるよう適切な法改正が望まれる。地方選挙制度を改正するために必要な法整備を遅くとも本年中に完了するよう強く求める。	×	×	×	議	×	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	原案可決
東京都に対し、都立病院・公社病院の地方独立行政法人化の中止を求める意見書	東京都は、都立･公社病院を独立行政法人化する方針を策定したが、新型コロナウイルス対策で重要な役割を果たしている都立･公社病院への財政支出、人員や医療の拡充が必要であり、独立行政法人化の中止を求める。	×	×	×	議	×	×	×	×	×	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	原案可決
オンライン本会議の実現に必要となる地方自治法改正を求める意見書	地方議会における本会議の開催が、情報通信技術による仮想空間での議会審議への参加、表決の意思表示によっても可能となるよう、地方自治法における招集･応招･出欠席･表決等の規定を速やかに改正するよう求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
優先整備路線に位置付けられた小金井市の都市計画道路2路線に関して、今年度の関連事務の停止と、長期的視点で事業化の見直しを求める意見書	未知なる感染症で、地域の役割や生活様式についても大きな課題を突きつけられた。都市計画道路小金井3・4・11号線外について今年度の関連事務の停止及び長期的視点での2路線の事業化の見直しを強く求める。	×	×	×	議	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	原案可決
予防原則、人権保障の観点から電磁波の更なる安全対策を求める意見書	5Gの電波距離は短く、細かな基地局が必要で、その設置には健康被害の増大が懸念される。予防原則、人権保障の観点から、電磁波の影響を受けやすい子どもや妊婦、電磁波過敏症の方たちへの更なる安全対策を求める。	△	△	△	議	△	△	△	△	△	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
福島第一原発事故によるタンク貯蔵汚染水の陸上保管を求める意見書	コスト優先の海洋放出は、漁業者に打撃を与え、地域の社会経済への影響は甚大である。福島県内と全国で公開の公聴会を開き、トリチウム等タンク貯蔵汚染水の海洋放出をやめ、陸上保管による恒久的対策の確立を求める。	×	×	×	議	×	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	原案可決
新型コロナウイルス災害下での生活困窮者支援と住宅支援策の充実を求める意見書	生活保護は憲法25条で保障された生存権として自治体窓口での速やかな申請受理と生活支援を進めること、若年単身世帯の公営住宅への入居と家賃補助、同居要件の廃止、災害救助法に基づくみなし公営住宅の拡充を求める。	○	○	○	議	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
プロバイダ責任制限法の改正を求める意見書	今年5月、芸能人の自死事件が報じられ、事件の背景にはＳＮＳによる誹謗中傷があると報じられた。今後、このような被害者と人を貶めるような行為を無くすために適正な法改正に早急に取り組むことを強く求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	原案可決
不動産価格の急激な下落に備え、都市農地保全のための措置を求める意見書	新型コロナウイルスの影響で不動産価格が急激に下落した場合、相続税の負担が過大となり、都市農地の減少が一層加速するおそれがある。多面的な機能を担う都市農地を後世に残すため、特例措置等による対応の検討を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
ＰＣＲ検査体制の強化と医療現場への財政支援を求める意見書	コロナウイルス感染拡大防止のカギは検査数を増やし、感染の全体像を掴むことである。そのためにＰＣＲ検査体制の強化が必要である。また、医療崩壊を起こさせないために、医療機関と医療従事者への財政支援を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
営業と雇用、暮らし、文化・芸術を支える補償と支援を求める意見書	派遣切りなどで仕事を失い生活が立ち行かなくなった人や、倒産・廃業に追い込まれる事業者が増え、文化や芸術に携わる人々も苦境に立たされていることから、東京都に対して、補償・支援策などの全7項目を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
国に対しCOVID-19対策としての学生・高等教育機関への支援と高等教育無償化の計画を求める意見書	学生・高等教育機関への支援策が有効であるか判断するための定期的実態調査と、更なる緊急支援策並びに高等教育における無償教育導入までの期間と過程を明確にした計画を市民が監視できるよう示すことを求める。	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
新型コロナウイルス感染症の感染防止策について、更なる改善を求める意見書	緊急小口資金等の特例貸付金額の引上げ、持続化給付金の対象者・金額の拡大、住民税等の減額免除、医療機関･ＰＣＲ検査体制への支援強化、特別定額給付金の実情に合った支給及び都の協力金の対象業種拡大を求める。	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第5次基本構想･前期基本計画の内容について、新型コロナウイルスの社会的影響を踏まえることを求める決議	パブリックコメントの結果と長期計画審議会委員の皆様の意見を踏まえ、予定したスケジュールに縛られずに、新型コロナウイルスの社会的影響と経験を反映した第5次基本構想・前期基本計画を審議することを求める。	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
新型コロナウイルス感染の情報公開の在り方に関する決議	市内で発生した大規模なクラスターなどの感染については、市長として市民生活に責任を負う立場から、主体的、迅速に市民に情報提供する必要がある。情報発信の在り方を東京都と協議し、対応することを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
新型コロナウイルス感染症を踏まえ、新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設に関して、慎重な検討を求める決議	①市民の生命･健康･生活･営業を最優先し、財源は市民等の支援に最優先で配分すること、②新庁舎建設の事業収支、市全体の財政計画を示すこと、③コストダウンが必要な場合はあらゆる可能性を検討することを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	原案可決
議案第50号令和2年度小金井市一般会計補正予算（第4回）に対する決議	①宮地楽器ホールの入場者数制限の割合に応じた利用料金の減免、②医療従事者や保育従事者等への慰労品の贈呈、③学生支援の自転車駐車場使用料補助は、希望する学生が漏れなく受けられるようにすることを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決

【会派略称】自：自由民主党・信頼の小金井　公：小金井市議会公明党　み：みらいのこがねい　共：日本共産党小金井市議団　お：小金井をおもしろくする会　会：こがねい市民会議
情：情報公開こがねい　改：改革連合　ネ：生活者ネットワーク　市：市民といっしょにカエル会　緑：緑・つながる小金井

一般質問

（4面～7面）6月4日、5日、8日、9日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

ＱＲコードをスマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。

会派の略称

（自民党・信頼）	自由民主党・信頼の小金井
（公明党）	小金井市議会公明党
（みらい）	みらいのこがねい
（日本共産党）	日本共産党小金井市議団
（こがおも）	小金井をおもしろくする会
（市民会議）	こがねい市民会議
（情報公開）	情報公開こがねい
（改革連合）	改革連合
（生活者ネット）	生活者ネットワーク
（市民カエル）	市民といっしょにカエル会
（緑・つながる）	緑・つながる小金井

東小金井が舞台のアニメで地域活性化を

岸田正義（みらい）

❶東小金井を舞台に市内事業者がアニメーション制作を担当した「おちこぼれフルーツタルト」がテレビ放映される予定である。キャラクターの名前が「桜衣乃、関野ロコ、貫井はゆ」など、市の町名に由来しており、その町の商店街限定スタンプやグッズを作り、ファンの来訪者を増やして回遊する仕掛けや、地域資源と結び付け戦略的に進めるなど、地域団体を推進役に、全力でサポートすべき。

市長　アニメ産業とのコラボレーションという民間主導の取組は、シティプロモーション等の様々な効果が期待でき、行政として、協力できることに努めたい。

❷感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルの見直しが急務である。(ア)感染症対策を含んだ避難所の想定収容人数は。(イ)学校施設、独立行政法人、ホステル等と調整し、分散避難を図るべき。(ウ)感染症対策に必要な備品の確保策は。(エ)感染症対策を踏まえた避難所マニュアルの見直しを求める。

部長　(ア)現在確保している面積のおよそ2倍必要と見込んでいる。(イ)調整可能なところで検討したい。(ウ)できる限り速やかに確保するよう努めたい。(エ)現在、避難所開設における感染症対策方針をまとめている。

コロナ危機と戦い市民生活を守る小金井市を

村山ひでき（みらい）

(ア)必要不急の施策を洗い出し、新型コロナウイルス対策の財源の生み出しを。(イ)交代制在宅勤務の課題は。(ウ)土・日・祝日を含めた勤務体制に移行できるようにする研究を。(エ)今後の支援策については、各種制度の対象外となった市民に対して行ってほしい。また、意見や要望を反映させるシステムを作ってほしい。

部長　(ア)事業の検討は、来年度に向けた実施計画の策定において進めていかなければならない。命、暮らし、地域を守ることが中心であり、その後の検討としたい。(イ)住民との対面サービスや機密性の高い情報を扱うなど、在宅勤務になじまない業務も多く、自宅から庁内のデータにアクセスできる仕組みになっていない点等が課題である。(ウ)既に、今回の交代制在宅勤務制度の中でも、週休日の出勤命令及び当該出勤分を在宅勤務予定日に振替をすること等で対応している。(エ)被雇用者（従業員）、個人事業主などに対する支援策の検討については未着手の状況であり、今後の研究課題と認識している。現場を知っている団体との情報交換は重要であり、商工会や観光まちおこし協会とは、平時よりも意識して情報交換を行っている。

コロナ禍が市政に与える影響／車での避難

吹春やすたか（自民党・信頼）

❶コロナ禍に対して。(ア)いち早く対応すべきではなかったか。他市では、小金井市より早く手を打っている。臨時会も開かれず、スピード感に欠けた対応となってしまったのではないか。(イ)新庁舎建設が市の財政に影響を与えないか。

市長　(ア)対策の予算の上程だけ早め、スピード感だけを意識していたら臨時会を開催できたかもしれないが、内容も併せて必要と考えている。今後とも、議員ご指摘のスピード感も意識して取り組んでいきたい。(イ)新型コロナウイルスによる経済への打撃は、深刻な打撃を受けると考えているが、この件については進めていきたい。

❷車で避難することについて、繰り返し訴えてきた。避難所の在り方について、今、本格的に考えるべき時に来たのではないか。

部長　駐車スペースや誘導などの課題があり、整理する必要があると考える。

熊本地震での校庭画像
（一社）Smart Supply VisionのHPより

特別支援学級スクール バスにも合理的配慮を

鈴木成夫（みらい）

(ア)特別支援学級スクールバスの利用を小学校３年生までに制限している理由は。(イ)在籍校以外の学童保育所利用や学年制限についてのニーズ調査を行わないか。(ウ)４年生以降の児童にも合理的配慮提供の観点から、組織として協議しないか。

部長　(ア)４年生以降の児童には自力通学を目標として、生活上の困難を主体的に改善、克服し自立することを目指し、目的としているためである。(イ)次年度のスクールバス希望意向調査と併せて実態調査を行っていきたい。(ウ)保護者との建設的な対話を通し、その子のより良い教育環境を整えるために相互理解を図る必要があり、利用の選択肢の提供も含めて検討する。

教育長　(ウ)常に当該児童が今、身につけておくべき能力等を見極め、どのような合理的配慮が必要かを、保護者や専門家と協議するとともに、子どもの声にも耳を傾け、検討していく。

特別支援学級在籍児童にも登下校の安全確保の視点が必要

感染症対応から見た情報発信・災害対応

小林正樹（公明党）

❶この間、ネット環境のない高齢者世帯や、外国籍の方、耳や視力の不自由な方などに対して、様々な重要な情報が届かないことがあり、対策が求められる。防災ラジオを普及し、行政からの情報を流さないか。

部長　関係課と調整し、考えていきたい。

❷風水害の季節を前に、新型コロナウイルス感染拡大と自然災害の発生が重なる「複合災害」への早急な備えが自治体に求められる。(ア)避難体制、避難所の感染対策など点検・確認の抜本的見直しを。(イ)備品リストの見直しを。(ウ)７年振りに28番目の防災組織「桜町防災会」が誕生した。防災会に一層のバックアップを。

部長　(ア)避難所運営に当たっては、学校の体育館のほか、教室などの活用もできるので、避難者の状況に応じてゾーニングの工夫をしたい。様々な取組を参考に避難所運営マニュアルの見直しを図っていきたい。避難所開設キットについても、改めて検討を図る。(イ)備蓄品の在り方を見直す必要があるという認識はある。(ウ)地域の方々のご理解・ご協力のおかげで、新たな自主防災組織が発足したことに御礼を申し上げる。自主防災組織を強化する必要があると認識している。

なぜ早期竣工が望まれているのか

沖浦あつし（みらい）

新庁舎・（仮称）新福祉会館建設について。(ア)現在、市役所第二庁舎は27年間賃借し、その借上料だけで総額62億円、今年度の借上料は約２億２千万円で間違いないか。(イ)何十年も賃貸庁舎の問題を解決できず、図書館等の施設の老朽化問題に手が回せず、まちづくりは他市と比べ遅れてきた。議会では、コロナ禍のため事業を凍結せよという声があるが、一日当たり60万円かかる借上料は、新庁舎を建てない限りかかり続ける。時間が経てば経つほど費用が膨らみ、市民の理解は得られない。基本設計案に対して一番多かった「ひろば」への声には、実施設計段階で検討してもらうべきである。早期竣工実現への姿勢を市民に伝えるべき。

部長　(ア)間違いない。

市長　(イ)新型コロナウイルス対策を行う状況下にあっても、この事業は止めることにはならないと考える。「ひろば」への要望は実施設計において検討を行う。事業を確実に進め、課題に対応していくことが、長期的視点に立った行政運営であると考えている。

■その他、外出自粛等の影響による高齢者の支援及び市民・市内事業者への給付金申請支援について専門家との連携を要望しました。

不登校の概念を無くす新しい取組を

宮下　誠（公明党）

緊急事態宣言の下、小・中学校で臨時休校が続いたが、今回の対応は不登校の概念を無くすきっかけになる新しい可能性を開くチャンスになると思う。子供や保護者の要望は、オンライン学習そのものよりも、学校や担任とのつながりである。子供一人一人にＩＤを付与して丁寧な指導を行わないか。また、児童・生徒がどこにいても公平に教育や指導を受けられる環境を整えていただきたい。

部長　小金井市では、Ｃｈｒｏｍｅｂｏｏｋを活用する。このシステムでは、児童・生徒が一人一人ＩＤを取得し、個別にデータを保存したり、学級のみんなとデータを共有したりできる。また、意見交換や課題のやり取りをするだけでなく、各自が習熟度に応じた練習問題に取り組むなど、個別最適化学習を推進できる。そして、オンラインの活用は、子どもたちに学ぶ場を提供し、自主的に学ぶ意欲を高めるための手段の一つとして非常に有効であると考える。特に、不登校の児童・生徒に対しては、学校とつながりを持ち、学習に取り組むための良いきっかけになると考える。教育委員会として、オンライン授業・学習について、今後も研究していきたい。

市内の繋がりと消費を促進する仕組みを

白井　亨（こがおも）

緊急事態宣言によって、現役世代の市内滞在時間が増え、市内の店を利用するきっかけも増えた。(ア)データによると、４月は通勤者は８割減った。捉え方によっては４万人ほど平日昼間に市内で消費活動をする人が増えたことになるが、どのように捉えているか。(イ)今年度策定予定の産業振興プランに、テレワークの推進などの要素を入れてはどうか。(ウ)今こそ、商品券など、市内の消費活動を刺激する政策が必要ではないか。

部長　(ア)地域発見のような事象が発生していること、在宅勤務は今後も一定の定着が想定でき、前向きに捉える要素があると考えている。(イ)新しい産業振興プランには、テレワークの推進を始め、新しい生活様式などを起点とした地域活性化策などの視点は必須であると認識している。(ウ)関係団体と連携し、小金井らしく効果的なことに取り組んでいく必要がある。

テレワーク、飲食店のテイクアウトが新しい日常に

コロナ危機から市民生活を守るために

紀　由紀子（公明党）

初めに、新型コロナウイルス対策のため、尽力頂いた皆様に感謝申し上げる。

❶家賃の支払いに困っている人も多い。住宅確保給付金について、４月20日から離職者に加え、やむを得ない休業等によって収入を得る機会が減少した方も対象、４月30日からハローワークへの求職の申込みも当分の間不要、都営住宅の人も利用可能である等、支給対象者拡大の更なる周知を。

部長　市報への掲載と各課連携により、制度の周知を図っていきたい。

❷図書館に本の消毒機を設置しないか、平成29年第１回定例会でも質問したが、再度問う。なお、西東京市は全館設置予定である。設置場所が２か所ということだが、全館設置の再検討を。

部長　２館に設置するが、他の館の設置については改めて検討したい。

❸高齢者は、自粛生活による健康への悪影響も心配である。フレイル（虚弱）予防の取組について。平塚市のようにフレイル予防の冊子を作らないか。

部長　高齢者のニーズ、国、東京都の方向性からも、早急に行うべきと考えている。冊子の作成も含め、検討していきたい。

■その他、電子図書の導入について質問しました。

義務教育の保護者負担軽減／市の広報改善を

水谷たかこ（こがおも）

❶(ア)他市では、教材費の負担軽減を研究しているところもあるが、本市ではどうか。(イ)中学校の標準服は強制するものではないという理解でよいか。(ウ)市に標準服リサイクルのコーディネートを期待したい。(エ)ＰＴＡ会費等を就学援助の対象にしないか。(オ)総括して、教育長の考えは。

部長　(ア)規則に基づき、負担を考慮し、教材を選定している。(イ)着用を強制するものではない。(ウ)行政の役割を研究したい。(エ)他市の動向を注視して考えたい。

教育長　(オ)学校だけの取組では改善は難しく、中学校のコミュニティスクール導入に向けて検討したい。

❷(ア)広報が分かりづらいとの声が多い。担当課の受け止めは。(イ)Ｔｗｉｔｔｅｒの更なる活用を。(ウ)児童館でも独自アカウントを取得して発信を。(エ)新型コロナウイルス対策について、高齢者や障がい者、外国人等への情報発信の工夫は。

課長　(ア)真摯に受け止め、見易くわかりやすい情報発信に努めたい。(イ)現状は不十分である。イベントを所管する部署等にはアカウント取得を促したい。(エ)広報掲示板を活用した。多言語発信、やさしい日本語の発信については、研究したい。

部長　(ウ)検討中である。

私が考える「小金井モデル」となる各種支援

清水がく（自民党・信頼）

❶新しい生活様式の徹底を機に、店内での３密を防ぐため、店舗前の道路上にテーブル等を設置して飲食物を提供するといった道路占用許可の緩和を行い、道路空間の利活用を行うことについての検討は。

部長　市民の活動等とも連携し、利活用できるよう努めていきたい。また、国や東京都から要請があった際は、道路占用の考え方を整理し、対応していきたい。

❷「まちの元気は商店街から」を合言葉に努力されている商店、事業者等の支援について。イベントが軒並み中止となり、活用しきれていない商店街チャレンジ戦略事業費補助を何とか有効に使用することについての検討状況は。

部長　市議会の決議等を踏まえ、引き続き商店会支援、事業者支援についても追加の支援策を検討したい。

❸家族介護者やヤングケアラーへの理解のための冊子製作の検討は。

部長　冊子の作成も含め、必要な支援内容について検討していきたい。

■その他、ケアラー、ヤングケアラーが地域で孤立せず、仕事や人生を諦めない社会の実現のため、教育委員会や子ども家庭支援センター等で連携し、率先した取組を要望しました。

小規模介護事業所、障がい者施設への支援を

板倉真也（日本共産党）

❶(ア)消毒用アルコールを事業所に優先的に配備する手はずを。(イ)防護服を買い揃えるのに要した費用を事業所単位で補助すべき。(ウ)財政調整基金を取り崩してでも、小金井市独自の給付事業を。(エ)各事業所・施設を対象とした影響把握、実態調査を行うべき。

部長　(ア)どの程度配備することが可能かを検討しているところである。(イ)医療資材の調達支援の観点から、支援の方策等について検討させていただく。(ウ)一定の支援を行うべき検討を進めているところである。(エ)今後も引き続き、一定の調査や事業所との連絡会などを通して、状況把握に努めたいと考えている。

❷(ア)広報物の音訳、点訳にあてがわれている部屋は作業に適しておらず、何らかの対策が必要である。(イ)関係団体と意見交換を行い、必要なソフト・機材を整備し、録音や編集作業に支障が出ないよう、責任を持って対応すべきではないか。

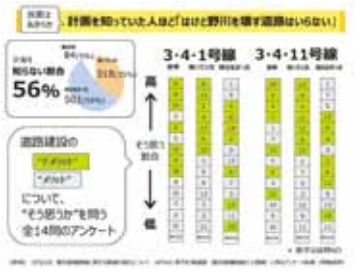
部長　(ア)施設整備の改善については、図書館施設全体の老朽化対策などと併せて検討を進めていくことも必要なので、すぐに解決策を講じることが難しい。(イ)困ったことがあったら、その都度担当職員に相談いただければ、対応したい。

はけと野川を壊してまで道路はいらない

坂井えつ子（緑・つながる）

(ア)市が行った優先整備２路線のアンケート結果を自ら分析したところ、計画が知られていないということ、計画を知っていた人ほど、野川やはけを壊してまで新しい道路は必要ないと考えているという結論に至った。市長はこの結果をどう受け止めているのか。(イ)要望書にある「丁寧な説明」とは。(ウ)東京都の依命通達を踏まえ、市長から事業の中止を求めてほしい。

市長　(ア)道路整備の効果を理解している市民も一定数いる一方、自然環境、景観に対する多くの懸念があり、計画を知らない市民が半数以上いることもよく分かった。更なる周知と丁寧な説明を求め、５月27日に東京都に要望書を出した。(イ)多様な考え方があることを踏まえるということが一番重要と思っている。(ウ)これまで申し上げてきたことを改めて申し上げていく。伝えるべきことは市長会などを通じて伝えていきたい。



アンケートの分析

コロナ禍での保育施設への対応など

湯沢綾子（自民党・信頼）

❶(ア)緊急事態宣言下、自治体間で保育施設への対応には大きな違いが生じた。第２波に備えて事例の研究を行うとともに、認可外施設利用者に対し認可施設と不公平が生じないよう保育料の補助等を行ってほしい。(イ)預かり保育は多くの園で利用できなくなった。保育の必要性のある保護者から要望があった場合、利用可能な保育サービスへのマッチングを行えないか。

部長　(ア)認可外保育施設における保育料の減額については、施設の実態調査等をした上で、制度を構築していきたい。(イ)代替サービスの供給量自体も不足するため、課題があるが、今後に備えて解決に努めたい。

❷保護者が新型コロナウイルスに感染し、他に面倒を見る人がいない場合に子どもをどこで預かるか想定しているか。そのためにホテルの部屋を借り上げている自治体もある。不安の声に寄り添い、近隣市との広域連携も視野に検討を。

部長　多摩府中保健所と小平児童相談所で預入先等を協議することになっているが、市としても対応できることは協力していく。

■その他、給食に関係する事業者等への臨時休校による影響が最小限となるよう配慮を要請しました。

今こそ生命を守る予防接種事業の拡充を

渡辺ふき子（公明党）

❶(ア)外出自粛等により必要な予防接種が受けられなかった乳幼児や高齢者に対し、接種期間の延長や接種への個別勧奨を行うべき。(イ)様々な理由により、免疫を無くしてしまった方へのワクチン再接種について助成しないか。

部長　(ア)３月、４月は大きく減っておらず、５月の実績を注視していきたい。

課長　(イ)支援制度の創出を、との声も寄せられている。今後、再接種制度について前向きに取り組みたい。

❷子宮頸がん予防ワクチン接種については、小学校６年生から高校１年生までの女子を対象に定期接種化されている。国が積極的な接種勧奨を控えてから６年間の間に、接種率が１％未満となり、対象者であることを知らない子どももいる。定期接種の最終年度となる高校１年生に対し、権利失効通知を送ってはどうか。

課長　国の状況を注視しながら、ホームページ等を活用し、適切に広報したい。

❸産後ケア事業の充実に向け、産後間もない母親に寄り添い、家事・育児もサポートする産後ケアの専門家「産後ドゥーラ」の導入を検討しないか。

課長　市内の資格保持者と顔の見える関係を築くことから始めたい。

奨学金の拡充と家賃・生活費の支援を求める

たゆ久貴（日本共産党）

❶新型コロナウイルスの影響で若者や学生の生活も大変な状況になっている。学費が払えず、学生の５人に１人が退学を検討しているというアンケート調査もあるように、危機的状況である。一律学費半額を求めるインターネット署名運動も全国で起こっており、小金井市では、市内の大学に通う学生から市議会に陳情書も提出された。学生の生活と未来を守るため、奨学金について、支給金額も対象人数も増やし、拡充するべきではないか。

部長　奨学資金運営委員会の意見等を踏まえ、国等の動向を参考に検討したい。

❷(ア)コロナ禍で収入が減り、家賃が払えない人が増えている。住居確保給付金については、学生も対象のはずが、対象外と言われた人もおり、対応がばらばらである。認識を徹底するべき。(イ)住居確保給付金の対象外の人へ、市の独自支援が必要ではないか。

部長　(ア)適切に案内をしたい。(イ)必要があれば、しかるべき時期に検討したい。

❸アルバイトや非正規労働者、フリーランスの人も仕事と収入が無くなり大変である。生活費の補償や支援が必要ではないか。

部長　まずは生活保護の案内と丁寧な対応をしたい。

浴恩館公園の野外調理場をなくさないで

田頭祐子（生活者ネット）

浴恩館公園の野外調理場は公民館緑分館に利用申請をすれば、誰でも焚き火ができる場所。隣地が宅地開発され、煙などの苦情で迷惑施設扱いされない対策が必要である。(ア)近年利用が増えている。市民の声、活動の様子についての把握は。(イ)市民間の苦情や相談事を解決する役割についての公民館の考えは。(ウ)この場所での継続が困難であれば、敷地内で移設し、続けるという方向性は持っているか。

部長　(ア)利用団体の活動が活発になり喜ばしいが、匂いの苦情もあり、悩ましくもある。野外調理場は防災時の活用、多世代地域交流、子どもの火おこし体験等ができる貴重な場と聞いている。(イ)公民館として、近隣住民の理解を得る働きかけは行わなければならないと考える。(ウ)利用団体と意見交換して検討したい。

■その他、文化財センターのハクビシン対策などについて確認しました。

かまどで餅つきの準備を手伝う子どもたち

コロナ対策、100兆円財政出動を求めるべき

斎藤康夫（市民会議）

政府の新型コロナウイルス対策は、目に付いた部分の水漏れをモザイクで塞いでいるような対処療法でしかない。新型コロナウイルスの感染による死者数よりも、自殺者数の方が多くなってしまうことはあってはならない。今、注目すべきは、自民党議員連盟が主張している「真水100兆円規模の財政出動」である。その概要は次のようなものである。持続化給付金の大幅拡充50兆円による粗利補償、中小企業に永久劣後債による資本注入、医療・介護現場への支援５兆円、地方公共団体への臨時交付金５兆円、特別定額給付金の複数回追加給付26兆円、高等教育就学支援制度の拡充１兆円、公務員の積極的採用、全品目の軽減税率による消費税率０％を時限的に行う。このような経済対策を、地方自治体として政府に求めるべきである。

市長　議員から紹介のあった提言は報道で拝見している。私としては、第２次補正予算が可決、成立し、一刻も早く支援策が各地方自治体に及び、具体的な施策となって展開されることが望ましいところであり、注視をしている。市長として、国や東京都に対し、要望を引き続き積極的に伝えていきたいと思っている。

滞納処分にコロナの給付金等を充てないこと

遠藤百合子（自民党・信頼）

❶(ア)国の動向を踏まえ、強制徴収手続等の滞納処分に、新型コロナウイルスの影響に伴う各種給付金・協力金等の着金を充てないことを求める。(イ)新型コロナウイルスに起因する滞納者への配慮は。

部長　(ア)令和２年度特別定額給付金等に係る差押え等に関する法律が４月30日に可決されている。市としても差押えができないものと認識している。(イ)徴収猶予の周知をしつつ納税相談を行い、必要な方には徴収猶予等の手続きをしている。基本的には、催告書の発送、電話催告、臨戸訪問等は一時中止している。

❷新型コロナウイルスの各種給付金・協力金・助成金等の事業者からの相談について、商工会との連携を更に強固なものにしないか。

部長　各種給付金について周知、広報、事業者からの相談等にご協力いただけるとの商工会からの申出をいただいている。今後も商工会としっかり連携し、継続して市内事業者の支援に取り組む。

❸聞こえの不自由な方々の周りへの周知を明らかにしていくために、耳マークを広めないか。

部長　手話対応と併記表示をし、耳マーク対応を強めていきたい。

新型コロナウイルスから市民や事業者を守れ

渡辺大三（情報公開）

新型コロナウイルス対策について。(ア)市役所としての雇用創出に一定の目標を持って取り組んでいるか。(イ)事業者支援に関して、追加支援はきちんと検討していただけるのか。(ウ)アーティスト支援、文化団体支援、市民活動支援を早急に検討していただきたい。(エ)学生の支援に関して早急に骨太な施策をとっていただきたい。(オ)総合的な買物代行や宅配サービスに関しても、コミュニティビジネスとしての育成を視野に検討していくべきではないか。

部長　(ア)社会情勢等を見ながら必要に応じて対応を考えたい。(イ)現時点において具体策を練り上げている状況にはないが、追加支援策は引き続き検討させていただく。(ウ)近々、一定の策を取りまとめたい。(オ)観光まちおこし協会とも連携しながら対応していきたい。

市長　(エ)本市においても、経済的に困窮している学生への支援策を引き続き考えていきたい。

■その他、新型コロナウイルスの影響による新庁舎建設の延期、凍結の事例を紹介しつつ、小金井市においても、財政上の影響が見通せないため、立ち止まって考え、市民生活を守る見地から抜本的な見直しをすべきであると質問しました。

コロナ対策が最優先 新庁舎建設は見直しを

水上洋志（日本共産党）

❶新型コロナウイルス感染症を教訓にした社会や生活の在り方が問われている。市政運営では保健・福祉に重点を置き、開発の問題などは検討が必要である。(ア)第５次基本構想・前期基本計画パブリックコメント案には、新型コロナウイルス感染症に対する教訓や対応は盛り込まれていない。計画に反映するとともに、策定スケジュールの見直しを求める。(イ)市財政への多大な影響が予想される。事業の見直しを行うべきである。

市長　(ア)必要があれば臨機応変に受け止めたい。(イ)税収は減収になることは間違いない。様々な方策を総合的に考えながら、長期的な市財政のことも念頭に置き今後構築していきたい。

❷新庁舎建設について、総事業費が105億円を超えるとされた。財政的見通しもなく進めることは許されない。今は市民の命と暮らし、営業を守ることが最優先課題である。新庁舎建設は、一旦再検証すべきである。

市長　新庁舎・（仮称）新福祉会館、清掃関連施設建設は重要な事業であり、成し遂げなければならない。

■その他、本庁舎跡地、本町暫定庁舎、保健センター、東小金井まちづくり事業用地の活用方策について質問しました。

コロナ災害後の学校教育は子ども主体で

片山　薫（市民カエル）

❶(ア)学校休校の判断、休校中の取組、再開の検討等は文書で残しているか。(イ)休校中の自宅学習の成果はテストで評価されるのか。(ウ)オンライン授業は、学校の民営化につながり、公教育の理念が奪われる。校長や先生は評価されるので教育委員会と対等な関係ではないのでは。(エ)ＩＣＴ整備より給食費、副教材費の無償化と就学援助の広報を。

部長　(ア)１月後半から指導室で検討。(エ)食材料費は、保護者負担が規定で明記。副教材費は、保護者の過重な負担とならないよう校長会で呼びかけていく。

室長　(イ)テストの点がそのまま評価ではなく、これからの指導に充てる。(ウ)校長会等での対話を大事にしているが対等ではない。

❷(ア)生活保護申請のオンライン化を。(イ)生活保護の職員体制は。(ウ)生活保護部分受給の広報を。(エ)社会福祉協議会の体制は。(オ)福祉総合相談窓口については。

部長　(ア)対応していない。(イ)職員を増員して負担を軽減。(ウ)工夫したい。(エ)現状は対応できている。(オ)10月の試行開始を準備中である。

❸今回の状況下の施策決定過程の公開と記録、議会での議論が必要ではないか。

市長　急を要する場合もあるが、資料提供は行う。

閉会中の委員会日程及び審査案件

総務企画委員会

7月10日（金）午後１時　8月19日（水）午前10時

▶公文書管理条例の制定を求める陳情書　▶東小金井駅北口まちづくり事業用地の活用に向けて整備基金の創設を求める陳情書　▶平成29年市議会議員選挙で、立候補者が市の指定管理である施設の名簿を選挙活用した事が法令に照らし適正だったかの検証陳情書　▶都選管の収支報告書に記載されている寄附の事実解明を求める訴え陳情書　▶元市議候補による個人情報盗用など一連の疑惑について地方自治法100条に基づく調査を求める陳情書　▶小金井あんず園への委託事業継続の是非に関し、小金井市議会に厳正調査を求める陳情書　▶行財政改革を推進するために財政援助団体における天下りの実態を解明することを求める陳情書　▶シルバー側から天下り依頼がなかった場合、市はシルバー人材センターに対していかなるいやがらせもしないとの確約を求める陳情書　▶本会議　Ｒ２.６.８　10：00／9：33～10：35における総務部長発言中の「適切」についての説明を求める陳情書　▶小金井市役所における起案書の運用にかかる確認を求める陳情書　▶30年後の焼却炉建設用地を確保するまでは、市内における大規模土地利用にかかる事業はすべて凍結することを求める陳情書　▶コロナ禍のテレワーク中にテレワーク破りをおこなった職員を調査し、それぞれの弁明を公開することを求める陳情書　▶小金井市公共施設等総合管理計画の進捗状況と方針についての諸問題の調査　▶地域防災、減災及び被災者支援についての諸問題の調査

議会運営委員会

7月22日（水）午前10時　8月27日（木）午後２時

▶市議会の視察にかかる旅費を全額補正減して、新型コロナウイルス対策費用に充当することを求める陳情書　▶（仮称）「新型コロナウイルス感染症対策等調査特別委員会」を設置し感染対策と市民や事業者の支援充実を図ることを求める陳情書　▶議会動画　本会議　Ｒ２.６.１　10：00～を市民による編集、再掲載可な著作権状態にすることを求める陳情書　▶あらゆるtwitterおよびblogの投稿欄もしくはエディタに以下の文字列を書くことへの許諾を求める陳情書　▶あらゆるtwitterおよびblogの投稿欄もしくはエディタに以下の文字列を書くことへの許諾を求める陳情書　▶議員定数を6増、30人にすることを求める陳情書　▶【議会改革】定例議会終了後に、ユーチューブで定例議会の結果をわかりやすく広報することを求める陳情書　▶【議会改革】市議会が市民からの質問に回答するシステムの導入を求める陳情書　▶議会改革に関する諸問題の調査　▶①次期定例会（臨時会を含む。）の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

厚生文教委員会

7月30日（木）午前10時

▶小金井市子どもの権利に関する条例の一部を改正する条例　▶小金井市奨学資金支給条例の一部を改正する条例　▶リサイクル事業所廃止に対する高齢者就業支援の立場にある福祉保健部の見解と廃止推進派との調整の内容の開陳を求める陳情書　▶リサイクル事業所廃止に対し現職職員兼務シルバー特別会員理事の果たした役割について福祉保健部の見解を求める陳情書　▶総会での理事選任をあたかも専断できるように書かれた推薦依頼に対し市がそれを看過の上、依頼に応えた理由の説明を求める陳情書　▶2陳情42号にかかる高齢福祉担当課長発言中のシルバー側からの数字に基づいてなされた答弁の再答弁を求める陳情書　▶公益社団法人会長から市長あての公文書を現役市職員と公益社団法人理事兼使用人が協議の上に隠滅した疑いへの回答を求める陳情書　▶厚生文教委員会　Ｒ２.６.11　10：06－　1：42：20～1：44：06で発言された監視にかかる確認を求める陳情書　▶コロナ災害で地域社会教育の学びを止めないために公民館等の公共集会施設の高速ネット接続環境の早急な整備を求める陳情書　▶平成30年3月26日付小福介発第1397号において任期を3年としているのは命令なのか要望なのかの確認を求める陳情書　▶定款違反を教唆するような記載にもとづいてされたシルバー常務理事選任に対してシルバー特別会員理事中谷氏の見解を求める陳情書　▶小金井市シルバー人材センター宛て市長名文書中に定款違反を教唆するような記載があることについての見解を求める陳情書　▶総務部長宛て事務連絡文中にある「特段のご配慮」の意味について発信者である当時の福祉保健部長柿崎氏の説明を求める陳情書　▶総会権限を会長の一存で決定できるかのように書かれたシルバー発書面に対する当時の福祉保健部長柿崎氏の見解を求める陳情書　▶シルバー人材センター特別会員理事推薦依頼文中の「連携上必要」に応えて市推薦を行った市が認定する連携の中身を問う陳情書　▶小金井市シルバー人材センター特別会員理事の市推薦に際し、市役所職員の立候補は認められているか否かの確認を求める陳情書　▶「適正な補助金執行を促す」とするシルバー特別会員理事柿崎氏が旧リサイクル事業所の赤字に対し行った作業の開陳を求める陳情書　▶小金井市保健福祉総合計画に関する諸問題の調査　▶子ども施策に関する諸問題の調査　▶社会教育施策に関する諸問題の調査

庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

8月3日（月）午前10時

▶利用者数の数字も調査されず設計されている新庁舎建設計画は素人の遊びですから一から設計をやり直すことを求める陳情書　▶市民による利用の少ない市役所は、利用頻度の高い部局を除き、市内の利便の良い土地を無駄に占拠しないことを求める陳情書　▶庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査

建設環境委員会

8月4日（火）午前10時

▶小金井市のリサイクル事業所の継続をのぞむ陳情書　▶30年後の可燃ごみ処理体制の早期確立を求める陳情書　▶ココバスの運行サービスの拡充を求める陳情書　▶現リサイクル事業所の存続を求める陳情書　▶小金井市民の努力が不当に評価されていることに対してその原因を究明し、是正策の策定を求める陳情書　▶市回収金属類に、あって当然のリユースの網をかけることにより再利用可能な金属物品を市民に適価で頒布することを求める陳情書　▶可燃ごみ処理委託料単価約48000円と同期間中他市が同焼却場、衛生組合に払った同単価の差を調査しその公開を求める陳情書　▶日野市に誤ったメッセージを送らないために浅川稼働の重要性を心から市民に納得してもらう具体的な作業の履行を求める陳情書　▶日野市に誤ったメッセージを送らないため3市ごみ減量推進市民会議の提言に挑戦する市の過失行為を未然に防ぐことを求める陳情書　▶他に類を見ない品揃えが魅力の小金井市リサイクル事業所の閉鎖を思いとどまって頂きたいとする陳情書　▶リサイクル事業所廃止撤回を求める陳情書　▶蛇の目跡地における今年9月開始工事がリサイクル事業所の閉鎖を伴わなければできないとすることへの論理的な説明を求める陳情書　▶庁舎建設工事中にＰＥＴ・缶処理施設は稼働可なのにリサイクル事業所のみ稼働不可としていることへの論理的説明を求める陳情書　▶隣地からの土埃による環境被害から改善を求める陳情書　▶多くの市民に愛される小金井市リサイクル事業所の継続を切にお願いしたいとする陳情書　▶13年間の広域支援への感謝を口だけでなく態度で示すために30年後、焼却場を引き受ける為の検討進捗状況の確認を求める陳情書　▶再度職務怠慢のごみ対策部局に対し猛省を促し、市回収金属類のリユース可能性についてリサイクル事業所との調整を求める陳情書　▶「リユース可能品はごみ袋へ」政策の市民認知を図るため廃止後のリサイクル事業所内物品廃棄作業の見学とその公開を求める陳情書　▶リサイクル事業所にジモティーへの登録を認めることを求める陳情書　▶福祉保健部が所管するべき書面を環境部が判断し、協議の上、提出に至らしめなかった環境部の責任を問う陳情書　▶環境部長の答弁姿勢に対する斎藤議員の叱責は当然であるとして2度とそのようなことはしない旨の当人からの謝罪を求める陳情書　▶駅周辺整備に関する調査　▶市内都市計画、自然環境及び住環境に関する調査　▶資源循環社会形成に関する調査

行財政改革推進調査特別委員会

8月17日（月）午前10時

▶行財政改革のさらなる推進に向けて、事務事業評価シートの速やかな作成を求める陳情書　▶コロナ以降のパンデミックに備えるために早急に効率的なテレワークスキームを作成し平時からの熟練をはかることを求める陳情書　▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

小金井市はGPN会員として
印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。
この印刷物は、植物性インキ（石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ）を使用しています。

特集１　新型コロナウイルス感染症対策の費用を含む補正予算（第2回～第4回）を可決するとともに、関連する決議を賛成多数で可決しました

（既に支給が終わっているものもありますので、詳細は市ホームページ等でご確認ください。）

市民生活への支援

●**小中学校のICT環境整備**
全児童・生徒に行き渡る分の教育用パーソナルコンピュータを購入するとともに、通信環境等の整備を行う。

●**図書消毒機の設置**
図書館本館と貫井北分室に図書の消毒機を設置する。

●**市民交流センター利用料金の減額**
感染拡大防止のため施設の定員が制限されることに伴い、利用料金を2分の1に減額する。

●**児童扶養手当受給者への臨時給付金**

●**収入が減少した方への住居確保給付金**

●**ひとり親世帯への臨時給付金**

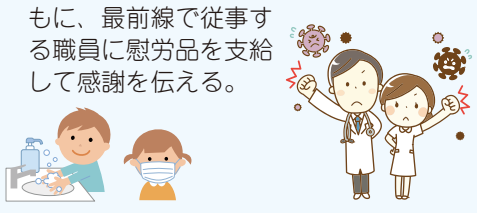
●**自転車駐車場利用料の補助（学生のみ）**
4・5月分の都内駐輪場の定期利用料を補助する。

●**高齢者世帯のエアコン等設置への助成**

事業者等への支援

●**事業継続支援給付金**
事業用の建物を賃借し、売上高が前年同月から15％以上減少した事業者に20万円の給付金を支給する。

●**障がい福祉・介護事業所への補助金**
事業所に運営補助金を支給するとともに、最前線で従事する職員に慰労品を支給して感謝を伝える。



補正予算（第2回）に関する決議の要旨

1、現下の厳しい社会経済状態からすれば、より早い段階で市民や事業者を支援する補正予算を編成し、臨時会を招集すべきであった。

2、事業継続支援給付金の給付は事業者にとって生命線ともなるものであり、その範囲や金額などについては議会とも適切な事前調整を行うべきであった。

3、飲食店への支援や、売上減少の大きい事業者（自己所有物件での事業者含む）への傾斜配分など、速やかに追加の支援策に着手することを求める。

4、図書消毒機の全分室への配備についても検討を求める。

補正予算（第4回）に関する決議の要旨

1、市民交流センターの大ホールにおいては57％、小ホールに至っては67％～80％も入場者数が制限されることから、半額ではなく制限の割合に応じた利用料金の減免を図ることを求める。

2、どの職種までを慰労の範囲とするかは判断が難しいところではあるが、医療従事者や保育従事者等への慰労品の贈呈も必要であり、一定の対応を求める。

3、希望する学生が漏れなく自転車駐車場利用料の補助を受けられるよう、運用を工夫することを求める。

特集２　議会改革が進んでいます

任期後半の議会改革の議論で、全会派一致で実施されているテーマをご紹介します。
また、任期中（4年）に1度、市議会の活動が市民にどのように伝わり、市民生活にいかされているかを把握する目的で、9月初旬には18歳以上の無作為抽出された2,000人の市民の皆さまにアンケートを発送する予定です。ご回答の程よろしくお願いいたします。

■全ての会議でパソコン等の持込みの試行開始

議員個人が所有するパソコン等の持込みについては、令和元年第4回定例会閉会中から、①議会運営委員会は試行から本実施へ。②議会運営委員会を除く市議会の全ての会議で試行を開始しました。

■議員提出議案のホームページへの公開

令和元年第4回定例会から、定例会終了後に議員提出議案をホームページにPDFで掲載することを開始しました。

■小金井市議会アカウントによるツイッターを開始

小金井市議会がTwitterアカウント（@koganei_gikai）を取得、令和2年1月より、本会議、各委員会等の開催に関する情報など市議会の活動に関する情報発信を開始しました。

■傍聴者アンケートの常時実施

令和2年第2回定例会から、日曜議会などで実施していた傍聴者アンケートの常時実施を開始しました。

原稿は議員が作成しております

平成31年度　政務活動費収支報告

政務活動費は、議員の調査研究等に必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付するものです。

各会派の収入・支出報告書、支出調書、収入・支出整理簿、領収書等の写しについては、市ホームページに掲載しています。

会派名	交付額（A）（※1）	預金利子（B）	収入（C）（A＋B）	支出額（D）	返還額（C－D）（※2）
自由民主党・信頼の小金井	1,740,000円	7円	1,740,007円	1,544,062円	195,945円
小金井市議会公明党	1,440,000円	6円	1,440,006円	872,002円	568,004円
みらいのこがねい	1,440,000円	3円	1,440,003円	778,409円	661,594円
日本共産党小金井市議団	1,320,000円	4円	1,320,004円	1,319,491円	513円
小金井をおもしろくする会	450,000円	0円	450,000円	450,000円	0円
こがねい市民会議	360,000円	0円	360,000円	194,191円	165,809円
情報公開こがねい	360,000円	1円	360,001円	289,347円	70,654円
改革連合（※3）	——	——	——	——	——
生活者ネットワーク	360,000円	0円	360,000円	359,933円	67円
市民といっしょにカエル会	360,000円	0円	360,000円	258,742円	101,258円
緑・つながる小金井	360,000円	0円	360,000円	276,398円	83,602円
合計	8,190,000円	21円	8,190,021円	6,342,575円	1,847,446円

※1　会派の所属人数に月額30,000円を乗じた金額を交付しています。　※2　残額は市に返還しています。　※3　平成31年度政務活動費を申請していません。

次の定例会は令和2年9月1日（火）開会予定です。